

しおかぜ

～2015年 No.18～

基本理念

病める人とともに、和と向上心をもって、
総合的かつ継続的な地域医療の実現をめざします。

【目次】～CONTENTS～

- ◇療養病床の設置について・・・P1～P2
- ◇新任医師紹介・・・P3
- ◇インフルエンザの予防法について・・・P3
- ◇医療安全推進週間について・・・P4
- ◇イベント（病院の話題）・・・P5～6
- ◇成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種について
・・・P7

基本方針

- 1.垂水市の中核病院として病診連携を充実し、地域に必要な救急医療から在宅医療まで24時間体制で提供します。
- 2.垂水市の地域包括ケアの拠点として、保健・医療・介護・福祉を連携し、住民が安心して住み続けられるまちづくりに貢献します。
- 3.鹿児島へのき地医療を支援するとともに、感染症および災害発生時には地域の拠点病院としての役割を果たします。
- 4.患者の人権とプライバシーを尊重し、多職種が連携した患者中心のチーム医療に努めます。
- 5.職員ならびに地域の医療従事者の教育に努め、医療の質を高めるとともに、鹿児島の医療人育成に貢献します。
- 6.病院を健全経営し、地域住民に安定した医療を継続的に提供できるように努力します。

お待たせしました。

垂水中央病院に療養病床ができます。

当院は、これまで救急医療を必要とする患者さんを中心とした医療を行ってきました。しかし、これからの垂水地域では、長期の療養を必要とする患者さんが益々増えることが予想されており、このような患者さんを受け入れるための病床が必要となってきています。このため当院は、2015年3月（予定）に、現在の病床の一部を療養病床に変更します。

この療養病床の設置により、これから長期の療養を必要とする患者さんを、当院で受け入れることができるようになります。

療養病床では、長期間の入院を利用してリハビリ等を行い機能回復を図ることで在宅医療へつなげたり、通院が困難な人工透析を行う患者さんや癌の痛みのコントロールが必要な患者さんも受け入れるなど、幅広く対応できる病床となっています。

いろいろと、ご不明の点があるかと思います。その際は遠慮なくお問い合わせください。

教えて!! 療養病床 Q&A

Q1 療養病床とは

A1 急性期の医療が終わり、退院に向かうまで引き続き医療が必要な患者さんを受け入れる病床です。また、施設や、在宅で病状が悪化し入院治療が必要な患者さんも受け入れます。

Q2 何床の療養病床がありますか

A2 2階病棟に35床を設置する予定です。



Q3 どれくらいの期間入院できますか。

A3 基本的に一般病床と比べ長期の入院が可能です。当院は、患者さんに適切な医療を提供し、在宅等へ退院することを目標としています。しかし、残念ながら状況によって治療が長期にわたる場合もあります。また、入院治療の必要がなくなった場合、他の施設への退院や在宅医療に移行する場合もあり、患者さんのケースにより入院期間は異なります。

Q4 どのような患者さんが入院できますか。

A4 入院の基準については下記の表におおまかに示したとおりです。できるだけ多くの方々の入院を受け入れたいのですが、病床数に限りがありますので、重症で医療の必要性が高い患者さん（医療区分2・3）を優先したいと考えています。ご家族等がどのような状態かお知らせいただければ、入院の可否、優先度等について説明させていただきます。

■以下のいずれかの状態もしくは疾患に該当する方が各医療区分に当てはまります。

<p>医療区分3 (最重症)</p>	<p>【病気の状態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師や看護師による、常時、監視や観察が必要 ・ 中心静脈栄養を実施 ・ ドレーン法または胸腔・腹腔の洗浄をしている ・ 気管切開が行われていて、発熱している ・ 酸素吸入を実施 等 <p>【対象疾患】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スモン
<p>医療区分2 (重症)</p>	<p>【病気の状態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肺炎治療 ・ 床ずれに対する治療※ ・ 末梢循環障害による下肢の創に対する治療※ ・ 人工透析（人工腎臓・持続緩徐式血液濾過、腹膜灌流または血漿交換療法）を実施 ・ 頻回に喀痰吸引を実施※ 等 <p>【対象疾患】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筋ジストロフィー ・ 多発性硬化症 ・ 筋萎縮性側索硬化症 ・ パーキンソン病関連疾患※ ・ その他の難病 ・ 頸髄損傷（四肢麻痺） ・ 慢性閉塞性肺疾患※ ・ 悪性腫瘍（麻薬使用中）
<p>医療区分1</p>	<p>医療区分2、3に該当しないが、長期の療養が必要な方</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 脳卒中や骨折などの発症に伴う寝たきり ・ 肺気腫や喘息など呼吸器の重い疾患で歩行等が困難 ・ 慢性の心臓病に対するリハビリが必要 ・ ベッド上での生活が長くリハビリが必要 等

※状態により判断基準あり



療養病床をお考えの方は、お気軽にご相談ください。

垂水中央病院 総合相談連携室 Tel.32-5211 (代表) 内線(159)

新任医師紹介



眼科

しいはら ひでき
椎原 秀樹

10月より垂水中央病院に赴任しました椎原秀樹と申します。丁寧な診察とわかりやすい説明を心掛けて診療を行ってまいります。今後とも宜しくお願い致します。



インフルエンザの予防法について

■十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

身体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

■適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に、乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保つことが効果的です。

■人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、特に高齢者や基礎疾患のある方、妊婦の方などは人混みや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず外出して人混みに入る可能性がある場合は、マスクを着用しましょう。

■流行前のワクチン接種

流行前にインフルエンザワクチンの接種を受けることで、インフルエンザに感染しにくくなったり、かかっても軽い症状ですむことが報告されています。

■うがいや手洗い

うがいは、ウイルスに荒らされた粘膜に、さらに細菌がとりつく「2次感染」を防ぐため、重症化予防の意味があります。また、流水・石鹸による手洗いは手指についたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法です。手洗いは、インフルエンザに限らず接触感染を感染経路とする感染症対策の基本です。



医療安全推進週間について

「医療安全推進週間」は、患者の安全を守るため、すべての医療関係者が協働して医療安全に取り組むことを目的として、厚生労働省が位置付けた期間です。当院では毎年、医療安全推進週間（2014年度は11月23日～11月29日）に職員より「医療安全推進標語」の募集・最優秀賞等の決定を行っています。今年度は、115作品の応募がありました。最優秀賞は「報！連！相！チームで防ぐ 医療事故」（栄養管理室）でした。その他、今年度の入選作品は下記となります。

順位	標語	部署
1位（最優秀賞）	報！連！相！ チームで防ぐ 医療事故	栄養管理室
2位（優秀賞）	見過ごしは だめよ～だめだめ 事故のもと	リハビリテーション室
2位（優秀賞）	始めよう 注意する勇気と 聞く態度	放射線室
3位（優良賞）	バーコード 正しく使って 誤認防止	4階病棟
4位（入選）	気をつける 慣れた仕事の 落とし穴	リハビリテーション室
4位（入選）	おかしいな 思ったその場で 報・連・相	栄養管理室

「医療事故調査制度」について

平成26年6月に医療法が改正され、医療事故調査制度が、制度化されました。
この制度は、**平成27年10月にスタートします。**

目的

医療の安全を確保するために、医療事故防止を行うこと

概要

診療所や助産所を含む全ての医療機関において、医療に起因、又は起因すると疑われる予期せぬ死亡事故が発生した場合、医療機関の管理者は、医療事故調査・支援センターへの報告と、事故の原因を明らかにするために必要な調査を行わなければならない。

イベント ～病院の話題～

在宅医療推進研修会



平成 26 年度第 2 回在宅医療推進研修会を 9 月 5 日宮崎県東臼杵郡美郷町 地域包括医療局 総院長の金丸吉昌先生を招いて「地域包括ケア～その心とは～」というテーマで開催しました。

研修会当日は、医療、介護、福祉、行政の方々約 130 名が参加。講演の中で、金丸先生が 20 年以上にわたって美郷町で住民を巻き込みながらどのようにして地域包括医療・ケアを実現してきたのか、様々な取り組み内容について紹介がありました。

集団事故救急救助訓練



毎年9月9日を救急の日と定め、この日を含む一週間を救急医療週間として全国各地でさまざまな行事が行われています。

垂水市でも集団事故発生に備え、救急救助技術の向上と各関係機関との連携を図ること等を目的に救急救助訓練が実施されました。訓練は、垂水市漁業協同組合ヘリポート付近で実施。訓練に参加した垂水中央病院の医師や看護師は、治療の緊急性を見分けるトリアージや応急処置を担当しました。

BLS院内研修会



9月10日、11日の2日間、院内の全職員を対象にBLS研修会を開催しました。BLSとは、心肺停止または窒息患者に対して、自動体外式除細動器（AED）以外の特別な器具（点滴セット、薬剤挿管セットなど）を用いないで行う救助法です。

研修会の前半は、赤坂和代看護副部長による講義「BLSを学ぶ」があり、後半は救命処置（心肺蘇生とAED）などの応急手当てを適切に行えるように参加者全員で実技を行いました。

おはら祭り夜まつり



11月2日に行われた、第63回おはら祭り夜まつりに、垂水中央病院と介護老人保健施設コスモス苑の職員約60名が参加しました。今回の夜まつりには86踊り連約8300人が参加。

午後7時のおごじょ太鼓の演奏で夜まつりが開幕。この日のために、約1か月前から一生懸命練習してきた踊りを、おはら節や鹿児島ハンヤ節のリズムに合わせて詰めかけた見物客に披露しました。おはら祭り夜まつりには職員が毎年参加しており、恒例行事となっています。

消防避難訓練



11月25日消防避難訓練と消火器による消火訓練を実施しました。避難訓練は、夜間（午前2時頃）4階病棟で火災が発生したとの想定で実施。初期消火に失敗したため、患者や付き添い者を看護師や他職員の誘導で病院駐車場に迅速に避難させました。

次に、7名の職員が初期消火の基本である消火器による消火訓練に参加。訓練を実施して、日頃から職員一人ひとりが高い防災意識を持つことが大切であると実感しました。

病院診療実績 (8~10月)

	8月	9月	10月
外来患者数 (1日平均)	5,066 (194.8)	5,066 (211.0)	5,265 (202.5)
新入院患者数	147	132	126
退院患者数	144	131	134

成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種について

10月から成人用肺炎球菌ワクチンが定期接種になりました

※定期接種とは、「予防接種法」という法律に基づき自治体を実施する予防接種です。

今年度の定期接種の対象者は以下の二つに該当する方です。

- 平成26年度に以下の年齢になる方
- 今までこのワクチンを接種したことがない方

平成26年度の対象者

65歳	昭和24年4月2日～昭和25年4月1日生まれの方
70歳	昭和19年4月2日～昭和20年4月1日生まれの方
75歳	昭和14年4月2日～昭和15年4月1日生まれの方
80歳	昭和9年4月2日～昭和10年4月1日生まれの方
85歳	昭和4年4月2日～昭和5年4月1日生まれの方
90歳	大正13年4月2日～大正14年4月1日生まれの方
95歳	大正8年4月2日～大正9年4月1日生まれの方
100歳	大正3年4月2日～大正4年4月1日生まれの方
101歳以上	大正3年4月1日以前にお生まれの方

60歳以上65歳未満で、心臓や腎臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害を有する方

■当院接種料金 7,000円

※接種対象者は、初回のみ4,000円の自己負担になります。

(垂水市補助：3,000円1人初回につき)

垂水市立医療センター 垂水中央病院

〒891-2124

鹿児島県垂水市錦江町1番地140

TEL：0994-32-5211 Fax：0994-32-5722（総務課）

0994-32-5230（医事課）

【E-mail】 tarumizuhp@tarumizumh.jp

【URL】 <http://tarumizumh.jp>